



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月5日

上場会社名 ナラサキ産業株式会社

上場取引所 東 札

コード番号 8085 URL <https://www.narasaki.co.jp/>

代表者 （役職名） 代表取締役社長兼社長執行役員 （氏名） 中村 克久

問合せ先責任者 （役職名） 常務執行役員 経営管理本部副本部長 （氏名） 長谷川 昌史 TEL 03-6732-7355

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	24,368	1.7	△6	—	78	△83.6	19	△94.0
2025年3月期第1四半期	23,968	11.6	422	95.8	481	82.9	327	101.7

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 184百万円（16.8％） 2025年3月期第1四半期 158百万円（△44.5％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	3.90	—
2025年3月期第1四半期	64.93	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第1四半期	53,071	26,297	48.5
2025年3月期	56,479	26,700	46.3

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 25,728百万円 2025年3月期 26,137百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	120.00	120.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		0.00	—	130.00	130.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	52,000	5.3	1,200	23.7	1,200	17.1	800	21.8	158.13
通期	118,000	4.9	3,500	14.3	3,500	11.8	2,500	11.6	494.15

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	5,325,600株	2025年3月期	5,325,600株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	238,435株	2025年3月期	253,935株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	5,079,432株	2025年3月期1Q	5,038,555株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2025年5月13日に公表しました業績予想に変更はございません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、個人消費の回復や設備投資の持ち直しなどにより、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、物価上昇の継続や米国の通商政策による影響が懸念されるなど、先行きの不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは中期経営計画“NSクリエーション2026”の2年目をスタートいたしました。

事業環境が大きく変化する中にあって、「創業130年に向けた次世代のナラサキを創り上げる足固めの3ヵ年」と位置付け、「質実剛健ニッチトップソリューション企業」として更なる飛躍と成長を目指してまいります。

「チームナラサキ」としての総合力を発揮し、真の価値あるソリューションを提供するとともに、コンプライアンスの徹底とコーポレートガバナンスの充実を経営の最重要課題と位置付け、すべてのステークホルダーの皆様や社会から信頼される企業グループを築き上げてまいります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は243億68百万円（前年同期比1.7%増）となりました。利益面については、販売費及び一般管理費の増加により、営業損失6百万円（前年同期は営業利益4億22百万円）、経常利益は78百万円（前年同期比83.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は19百万円（前年同期比94.0%減）となりました。

セグメント別の概況は、以下のとおりであります。

（電機関連事業）

建築設備分野では、制御機器などの販売が堅調に推移しました。一方、生産設備分野では、在庫調整に伴い受注が伸び悩んだほか、加工機等の案件が低調でした。

以上の結果、売上高は56億45百万円（前年同期比2.3%減）、セグメント損失65百万円（前年同期はセグメント利益2億2百万円）となりました。

（機械関連事業）

農業施設分野および産業機械分野では、案件の引合い・成約は順調に推移しましたが、建築工事の遅延の影響により、機械設備等の受渡しは低調でした。

以上の結果、売上高は11億48百万円（前年同期比42.1%減）、セグメント損失1億36百万円（前年同期はセグメント利益37百万円）となりました。

（建設・エネルギー関連事業）

建材分野では、道路・橋梁資材や北海道新幹線工事等のセメント、生コンの出荷が順調に推移しました。建設機械分野では、コンクリート関連機械の販売が伸長しました。エネルギー分野では、価格競争が続く中で、ガソリン・軽油などの販売量確保に努めました。

以上の結果、売上高は134億9百万円（前年同期比11.5%増）、セグメント利益は63百万円（前年同期比23.4%減）となりました。

（海運関連事業）

連結子会社のナラサキスタックス(株)では、人員不足や円安などの影響により荷動きは落ち込んだものの、主要貨物である鋼材のほか、苫小牧における石炭やバイオマス燃料の取扱いが順調に推移しました。

以上の結果、売上高は41億65百万円（前年同期比0.5%減）、セグメント利益は1億34百万円（前年同期比16.4%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は530億71百万円となり、前連結会計年度末に比べて34億7百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金の減少34億37百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少33億9百万円、電子記録債権の増加18億37百万円、有形固定資産の増加7億35百万円であります。

負債は267億74百万円となり、前連結会計年度末に比べて30億4百万円減少しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少22億87百万円、未払法人税等の減少4億52百万円であります。

純資産は262億97百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億2百万円減少しました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて2.2ポイント増加し、48.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2025年5月13日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,637	9,200
受取手形、売掛金及び契約資産	19,196	15,886
電子記録債権	3,499	5,337
商品及び製品	1,795	2,204
仕掛品	160	317
原材料及び貯蔵品	61	58
その他	1,655	1,650
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	39,001	34,650
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,527	4,527
その他（純額）	4,294	5,029
有形固定資産合計	8,821	9,557
無形固定資産	132	124
投資その他の資産		
その他	8,534	8,750
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	8,523	8,738
固定資産合計	17,478	18,420
資産合計	56,479	53,071

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,631	11,343
電子記録債務	6,977	6,894
短期借入金	1,200	1,300
1年内返済予定の長期借入金	179	116
未払法人税等	509	57
賞与引当金	492	127
その他	2,324	2,525
流動負債合計	25,314	22,364
固定負債		
長期借入金	230	219
特別修繕引当金	94	87
退職給付に係る負債	1,040	969
その他	3,098	3,133
固定負債合計	4,464	4,409
負債合計	29,778	26,774
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,354	2,354
資本剰余金	1,328	1,328
利益剰余金	20,496	19,904
自己株式	△471	△441
株主資本合計	23,708	23,147
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,447	1,661
繰延ヘッジ損益	△1	△1
為替換算調整勘定	145	105
退職給付に係る調整累計額	838	816
その他の包括利益累計額合計	2,429	2,581
非支配株主持分	562	569
純資産合計	26,700	26,297
負債純資産合計	56,479	53,071

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	23,968	24,368
売上原価	21,367	21,851
売上総利益	2,600	2,517
販売費及び一般管理費	2,178	2,523
営業利益又は営業損失(△)	422	△6
営業外収益		
受取利息	0	3
受取配当金	57	67
持分法による投資利益	3	2
為替差益	1	24
その他	17	14
営業外収益合計	80	112
営業外費用		
支払利息	10	12
その他	11	14
営業外費用合計	21	27
経常利益	481	78
特別利益		
固定資産売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産処分損	0	1
特別損失合計	0	1
税金等調整前四半期純利益	482	77
法人税、住民税及び事業税	23	20
法人税等調整額	118	24
法人税等合計	142	45
四半期純利益	339	31
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	327	19

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	339	31
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△159	214
繰延ヘッジ損益	2	0
為替換算調整勘定	—	△39
退職給付に係る調整額	△23	△22
その他の包括利益合計	△181	153
四半期包括利益	158	184
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	143	171
非支配株主に係る四半期包括利益	14	12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(棚卸資産の評価方法の変更)

棚卸資産のうち標準電機品の評価方法について、従来、移動平均法による原価法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、総平均法による原価法へ変更しております。

また、棚卸資産のうち石油製品の評価方法について、従来、最終仕入原価法による原価法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、総平均法による原価法へ変更しております。

これらの評価方法の変更は、基幹システムの刷新を契機に、期間損益計算をより迅速かつ適正に行うことを目的としたものであります。なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	電機 関連事業	機械 関連事業	建設・ エネルギー 関連事業	海運 関連事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	5,776	1,984	12,019	4,185	23,965	—	23,965
その他の収益	—	—	3	—	3	—	3
外部顧客への売上高	5,776	1,984	12,023	4,185	23,968	—	23,968
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	73	0	74	△74	—
計	5,776	1,984	12,096	4,185	24,043	△74	23,968
セグメント利益	202	37	82	115	438	△16	422

(注) 1 セグメント利益の調整額には、各セグメントに配分していない全社費用△18百万円、セグメント間取引消去額2百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	電機 関連事業	機械 関連事業	建設・ エネルギー 関連事業	海運 関連事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	5,645	1,148	13,406	4,165	24,365	—	24,365
その他の収益	—	—	3	—	3	—	3
外部顧客への売上高	5,645	1,148	13,409	4,165	24,368	—	24,368
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	115	1	117	△117	—
計	5,645	1,148	13,524	4,167	24,485	△117	24,368
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△65	△136	63	134	△4	△2	△6

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、各セグメントに配分していない全社費用0百万円、セグメント間取引消去額△2百万円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	153百万円	177百万円